

二十一、秀 逸 賞 八點 高槻市(大阪府)

二二〇八 野焼して大河の流れ膨らます 吉 田 喬

二十二、秀 逸 賞 七點 須賀川市

一六 包丁と砥石と水と一葉忌 齋 藤 耕 心

二十三、秀 逸 賞 七點 福島市

三三四 雪はげし母の看取りの終りし日 引 地 こうじ

二十四、秀 逸 賞 七點 防府市(山口県)

四四四 啓蟄や自動ピアノの弾みをり 篠 原 久 子

二十五、秀 逸 賞 七點 二本松市

三四 この先の孤独恐るる冬の鴉 安 藤 悦 子

二十六、秀 逸 賞 七點 二本松市

一八六 長薯や稚児抱くように掘りあげる 野 里 安 の り

二十七、秀 逸 賞 七點 二本松市

七八四 戸を明けて掃くすべもなし今朝の雪 服 部 静 代

二十八、秀 逸 賞 七點 喜多方市

九九九 目鼻取れ菩薩となりぬ雪だるま 高 橋 正 子

二十九、秀 逸 賞 七點 福島市

一一四一 春をまた死者に生者に米を磨ぐ 渡 邊 文 子

三十、秀 逸 賞 七點 二本松市

一四二〇 あかあかと夕日引き寄せ大根干す 渡 邊 三 一 子

三十一、秀 逸 賞 七點 福島市

三七六 漉きあがる紙にまだ無き紙の音 井 上 明 子

三十二、秀 逸 賞 七點 南相馬市

一六八七 障子など仮設にはなき生活かな 永 倉 重 子

三十三、佳 作 六點 いわき市

二六〇 光りつつ大麦畑は青さ増す 高 倉 早 智 子

三十四、佳 作 六點 三郷市(埼玉県)

二七八 紅枝垂地に触れたくて風誘ふ 村 山 俊 二

三十五、佳 作 六點 喜多方市

九五七 紙漉きの冷えたる両手湯に癒やし 江 花 修

三十六、佳 作 六點 二本松市

一一九一 うららかなや和紙の乾きし香り満つ 服 部 一 燈 子

三十七、佳 作 六點 いわき市

一五五七 病むわれの肩に夫の手あたたかし 村 上 キ ヨ 子

三十八、佳 作 六點 宇都宮市(栃木県)

一九八〇 螢待つ二人に闇の深くなる 五十嵐 藤 重

三十九、佳 作 六點 福島市

五九七 明易や農家生れの血がうづく 花 房 幸 道

四十、佳 作 六點 横須賀市(神奈川県)

一三三三 天平の蕨の御寺青き踏む 大 木 典 子

四十一、佳 作 六點 埴町

二二五九 ぼんぼりや水中の闇うごめかす 神 永 秀 郎

四十二、佳 作 六點 防府市(山口県)

二二七 臨月の牛の瞳大き秋桜 岸 本 千 絵

四十三、佳 作 六點 福島市

八三四 少年の祈りの拳冬木の芽 宇 川 啓 子

四十四、佳 作 六點 福島市

九五〇 漉き小屋の開かずの窓に日が凍る 鈴 木 正 治

四十五、佳 作 六點 御所市(奈良県)

一六七三 母も着しちやんちやんこ着て紙を漉く 上 村 佳 与

四十六、佳 作 六點 本宮市

一八三五 薄氷を割って告白するつもり 河 原 朝 子